

日本視覚学会2018年冬季大会プログラム

期 日：2018年1月17日（水）～1月19日（金）

場 所：工学院大学新宿キャンパス・アーバンテックホール3階

〒163-8677 新宿区西新宿1-24-2

（JR線新宿駅から西口より徒歩5分；京王線，小田急線，地下鉄各線「新宿駅」下車，徒歩5分；都営大江戸線「都庁前駅」下車，徒歩3分；西武新宿線「西武新宿駅」下車，徒歩10分

<http://www.kogakuin.ac.jp/facilities/campus/shinjuku/access.html>）

主 催：日本視覚学会

共 催：科研費新学術領域「身体性システム」（大会企画シンポジウム「身体意識の理解に向けて」）

- ・一般講演（口頭発表）は発表時間10分，質疑5分の計15分です。
- ・一般講演では，PC用プロジェクトを使用できます。それ以外の機器をご希望の方は早めに実行委員会にご連絡下さい。講演者は発表セッションの前に，使用機材のご確認をお願いいたします。
- ・ポスター発表用のパネルの大きさは，幅180cm高さ90cmです。取り付け用のピンは会場に用意されます。
- ・ポスター発表の在席責任時間は下記の通りです。
2p01～19：奇数番号9:30～10:15，偶数番号10:15～11:00
2p20～37：奇数番号13:15～14:00，偶数番号14:00～14:45
3p01～18：奇数番号9:30～10:15，偶数番号10:15～11:00
- ・学生会員の発表（口頭発表・ポスター発表）を対象とした「ベストプレゼンテーション賞」の選考を行います。
- ・使用言語は，日本語または英語とします。

	1/17 (水)	1/18 (木)	1/19 (金)
9:00		ポスター掲示	ポスター掲示
9:30		9:30-11:00 セッション3 (ポスター) 19	9:30-11:00 セッション7 (ポスター) 18
10:00			
11:00		11:00-12:15 セッション4 (一般講演) 5	11:00-12:15 セッション8 (一般講演) 5
12:00	12:00 受付開始		
12:55	開会		
13:00	13:00-14:45 セッション1 (一般講演) 7	13:15-14:45 セッション5 (ポスター) 18	13:15-14:35 セッション9 (特別講演) 眼球運動
14:00			
15:00	15:00-17:00 セッション2 (シンポジウム) 身体意識	15:00-17:00 セッション6 (シンポジウム) 顔と身体表現	14:45-15:45 セッション10 (一般講演) 4
16:00			15:45-16:15 総会・閉会
17:00			
	17:10 幹事会	17:10 世話人会	

1日目 (2018年1月17日水曜日)

- 12:55- 開会 実行委員長：松宮一道 (東北大学)
- 13:00-14:45 セッション1 (一般講演) 座長：水科晴樹 (徳島大学)
- 1o01 方位弁別と顔弁別における情報統合の時間差-タスク難易度の影響の検討
林 隆介¹, 村上郁也²
(産業技術総合研究所システム脳科学研究グループ¹,
東京大学大学院人文社会系研究科²)
- 1o02 コントラストゲインコントロールを実行する数理モデルと錯視
志賀亮紀¹, 佐藤俊治²
(電気通信大学情報理工学部¹, 電気通信大学大学院情報理工学研究科²)
- 1o03 課題の難易度によるYes/No反応の生起過程
谷口康祐¹, 藏口佳奈², 小西行郎¹
(同志社大学赤ちゃん学研究センター¹, 京都大学大学院文学研究科²)
- 1o04 周辺視における空間と数の圧縮効果
寺尾将彦¹, 小野史典^{1,2} (山口大学時間学研究所¹, 山口大学教育学部²)
- 1o05 4ストローク仮現運動におけるフリッカの低減
河邊隆寛, 西田眞也 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
- 1o06 顔データベースの体系化
蒲池みゆき, 馬場ちひろ (工学院大学情報学部)
- 1o07 不規則な視覚情報の未来に関する展望的意思決定
八代龍門¹, 本吉 勇² (東京大学教養学部¹, 東京大学大学院総合文化研究科²)
- 15:00-17:00 セッション2 (大会企画シンポジウム「身体意識の理解に向けて」) 座長：松宮一道 (東北大学)
- 運動主体感の神経基盤を探る
今水 寛 (東京大学大学院人文社会系研究科)
- 総合失調症における自己意識 (sense of agency) の変容
前田貴記 (慶應義塾大学医学部)
- 他者動作の観察が自己動作に与える影響
池上 剛 (脳情報通信融合研究センター (CiNet), 情報通信研究機構)
- 17:10- 幹事会

2日目 (2018年1月18日木曜日)

- 9:30-11:00 セッション3 (ポスターセッション)
- 2p01 自然画像観察時における注視の時間的優先性
赤松和昌¹, 宮脇陽一^{1,2}
(電気通信大学大学院情報理工学研究科¹, 科学技術振興機構さきかけ²)

- 2p02 周辺環境で変調する光沢感知覚
森 唯人, 酒井 宏 (筑波大学大学院システム情報工学研究科)
- 2p03 色, 形, 位置の組み合わせと反応の連合方式の検討
藤井佑実子¹, 森田ひろみ²
(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科¹, 筑波大学図書館情報メディア系²)
- 2p04 見慣れた物体が色恒常性の成立度合いに与える影響
菊地 華¹, 大島研介², 斎田真也², 内川恵二²
(神奈川大学人間科学部¹, 神奈川大学マルチモーダル研究所²)
- 2p05 パーチャルリアリティーを用いた色彩環境の違いによる距離認識に関する研究
長浜智晴 (横浜市立大学国際総合科学部)
- 2p06 テクスチャ知覚における共線性残効
佐藤弘美^{1,2}, Frederick Kingdom¹, 本吉 勇³
(McGill Vision Research, Department of Ophthalmology, McGill University¹,
日本学術振興会特別研究員(PD)², 東京大学大学院総合文化研究科³)
- 2p07 色恒常性に対する光沢感と低次画像統計量の影響の比較
石川智和¹, 田代知範², 山内泰樹², 永井岳大²
(山形大学工学部¹, 山形大学大学院理工学研究科²)
- 2p08 透明感と光沢感の知覚学習により低次画像特徴への感度は変化するか?
小松柊斗¹, 田代知範², 山内泰樹², 永井岳大²
(山形大学工学部¹, 山形大学大学院理工学研究科²)
- 2p09 質感知覚における画像サンプル群依存性
三澤隆太¹, 田代知範², 山内泰樹², 永井岳大²
(山形大学工学部¹, 山形大学大学院理工学研究科²)
- 2p10 HDR背景上におけるコントラスト感度特性
早坂美咲¹, 永井岳大², 佐藤智治³, 栗木一郎⁴
(山形大学工学部¹, 山形大学大学院理工学研究科²,
一関工業高等専門学校制御情報工学科³, 東北大学電気通信研究所⁴)
- 2p11 質感知覚における低/高輝度成分の重要性を決定づける画像特徴
保坂侑汰¹, 永井岳大¹, 佐藤智治², 栗木一郎³
(山形大学大学院理工学研究科¹,
一関工業高等専門学校制御情報工学科², 東北大学電気通信研究所³)
- 2p12 輝度検出とそのノイズ効果に対するL/M錐体数比の影響
齋藤隆介¹, 永井岳大¹, 田代知範¹, 山内泰樹¹, 内川恵二²
(山形大学大学院理工学研究科¹, 神奈川大学マルチモーダル研究所²)
- 2p13 輝度知覚に対する微弱コントラスト刺激による順応効果
鈴木利佳¹, 田代知範², 山内泰樹², 永井岳大²
(山形大学工学部¹, 山形大学大学院理工学研究科²)
- 2p14 乳児を対象とした表面知覚の恒常性における影知覚の影響
佐藤夏月¹, 金沢 創², 山口真美¹ (中央大学¹, 日本女子大学²)
- 2p15 錐体細胞とメラノプシン細胞へのON及びOFF刺激による明るさ知覚への影響
松元明子, 山下和香代, 辻村誠一 (鹿児島大学大学院理工学研究科)

- 2p16 乳児における身近な物質の視聴覚統合
氏家悠太¹, 金沢 創², 山口真美³
(中央大学研究開発機構¹, 日本女子大学人間社会学部², 中央大学文学部³)
- 2p17 単眼・両眼からの視線知覚と視線方向手掛かりに対する顔向きの影響(2)
大塚由美子¹, Colin Clifford²
(愛媛大学法文学部¹, School of Psychology, UNSW Sydney²)
- 2p18 照明の拡散性と周囲環境が物体の色の見えに与える影響
野崎 航, 溝上陽子, 矢口博久(千葉大学大学院融合科学研究科)
- 2p19 Different correlations between chromatic detection sensitivities and S-cone adaptation among various chromatic contrast directions
Lin Shi (Faculty of Information Engineering and Automation, Kunming University of Science and Technology, China, Computer Application Key Laboratory of Yunnan Province, Kunming University of Science and Technology, China)
- 11:00-12:15 セッション4 (一般講演)
座長: 坂野雄一 (情報通信研究機構)
- 2o01 片眼弱視患者と健常者における左右眼間運動速度マッチング
前原吾朗¹, 荒木俊介², 米田 剛², Benjamin Thompson³, 三木淳司⁴
(神奈川大学¹, 川崎医療福祉大学², University of Waterloo³, 川崎医科大学⁴)
- 2o02 物体の奥行き知覚に光沢と透明特性が与える影響
大原正和¹, Juno Kim², 鯉田孝和^{1,3}
(豊橋技術科学大学大学院情報・知能工学専攻¹, School of Optometry and Vision Science, University of New South Wales, Australia², 豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所³)
- 2o03 光沢感知覚における鏡面ハイライト以外の画像手掛かり一映り込みの明瞭さと輝度エッジの関係一
清川宏暁, 田代知範, 山内泰樹, 永井岳大(山形大学大学院理工学研究科)
- 2o04 垂直大きさ視差の平均化処理と網膜像の運動速度との関係
宮西雄太, 久方瑠美, 金子寛彦(東京工業大学工学院情報通信系)
- 2o05 コントラストと方位で定義された刺激におけるエビングハウス錯視
Sofia Lavrenteva, 村上郁也(東京大学大学院人文社会系研究科)
- 13:15-14:45 セッション5 (ポスターセッション)
- 2p20 CNNを用いた絵画主義判断課題における特徴抽出メカニズムの検討
白石祥之¹, 原 泉¹, 佐藤宏道², 内藤智之²
(大阪大学大学院生命機能研究科¹, 大阪大学大学院医学系研究科²)
- 2p21 対称軸への順応一形状の抑制作用
坂田結衣, 酒井 宏(筑波大学システム情報系)

- 2p22 強化学習を用いた適応行動獲得が生み出す高次領野から一次視覚野へのトップダウン効果
谷 遼¹, 矢野史郎², 樫森与志喜¹
(電気通信大学大学院情報理工学研究科¹,
東京農工大学大学院工学府²)
- 2p23 運動視における周辺抑制機能の発達
中島悠介¹, 杉田陽一¹, 山口真美², 金沢 創³
(早稲田大学文学部¹, 中央大学文学部², 日本女子大学人間社会学部³)
- 2p24 視覚数理モデルによる錯視パターンの網羅的探索とその検証
中村大樹¹, 柳田悠介², 佐藤俊治³, 吉永 努³
(電気通信大学大学院情報システム学研究科¹, 電気通信大学情報理工学部²,
電気通信大学大学院情報理工学研究科³)
- 2p25 第一次視覚野単純型細胞の受容野に関する数理モデル研究
上田一平, 佐藤俊治 (電気通信大学大学院情報理工学研究科)
- 2p26 錯視による手の動きへの影響
今野和紀 (横浜市立大学国際総合科学部)
- 2p27 タブレット型端末を用いた簡易視覚検査キット
細川研知¹, 丸谷和史¹, 西田真也¹, 仲泊 聡²
(NTTコミュニケーション科学基礎研究所¹,
理化学研究所多細胞システム形成研究センター²)
- 2p28 身体の運動が身体性注意に与える影響
野々村 萌¹, Chia-huei Tseng², 松宮一道², 栗木一郎², 塩入 諭²
(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)
- 2p29 視覚特徴バイディングの周期性
中山遼平, 本吉 勇 (東京大学大学院総合文化研究科)
- 2p30 ドリフト運動錯視への影響要因の確認
森田真大, 面谷 信 (東海大学工学部)
- 2p31 視覚野への経頭蓋電気刺激が視覚課題遂行中のBOLD信号に及ぼす効果
野村圭史¹, 島 周平², Kristina Visscher³, Aaron Seitz⁴, 四本裕子²
(東京大学教養学部¹, 東京大学大学院総合文化研究科²,
Department of Neurobiology, University of Alabama at Birmingham³,
Department of Psychology, University of California Riverside⁴)
- 2p32 MEGを用いたフィードフォワード, フィードバック視覚情報処理の解析
湯浅健一^{1,2,3}, 竹村浩昌^{1,2,3}, 本吉 勇⁴, 天野 薫^{1,2}
(情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター(CiNet)¹,
大阪大学大学院生命機能研究科², 日本学術振興会³,
東京大学大学院総合文化研究科⁴)
- 2p33 運動方向の切り替えが視覚探索の探索効率に及ぼす効果
仲田穂子, 村上郁也 (東京大学大学院人文社会系研究科)
- 2p34 傾いた平面上における窓問題解決
服部実香, 蘆田 宏 (京都大学大学院文学研究科)

- 2p35 境界帰属方向と物体の重なり順序を同一の計算理論により再現する視覚モデル
 Zaem Arif Zainal, 佐藤俊治 (電気通信大学大学院情報システム学研究科)
- 2p36 立体映像視聴時の頭部運動が視覚疲労に与える影響
 佐藤太陽, 横井健司 (防衛大学校応用物理学科)
- 2p37 顔の選好判断に対する眼球運動の影響
 片山翔太, 横井健司 (防衛大学校応用物理学科)
- 15:00-17:00 セッション6 (大会企画シンポジウム「多文化をつなぐ顔と身体表現」)
 座長: 山口真美 (中央大学)
 指定討論者: 渡邊克巳 (早稲田大学理工学術院)
 顔の魅力判断における視覚情報の統合過程
 三枝千尋¹, 渡邊克巳² (花王¹, 早稲田大学理工学術院²)
 Individual differences in aesthetic preference for fractal patterns
 Branka Spehar¹, Richard Taylor² (School of Psychology, UNSW Australia¹,
 Physics Department, University of Oregon, USA²)
 聾者の手話会話, ダンスにおいて互いを〈見ない〉こと: ケニアの聾の子供を事例に
 吉田優貴 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
 多文化比較フィールド実験研究を実現するということ
 島田将喜¹, 高橋康介², 大石高典³, 錢 琨⁴
 (帝京科学大学生命環境学部¹, 中京大学心理学部²,
 東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター³,
 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター⁴)
- 17:10- 世話人会
- 3日目 (2018年1月19日金曜日)**
- 9:30-11:00 セッション7 (ポスターセッション)
- 3p01 フリッカーする周辺ドリフト錯視がベクシオン強度および身体動揺に与える影響
 藤本花音, 蘆田 宏 (京都大学大学院文学研究科)
- 3p02 日常生活の中での心理実験の可能性
 山岸典子¹, 前川 亮^{1,2}, Matthew de Brecht^{1,3}, Stephen J. Anderson⁴
 (情報通信研究機構/大阪大学脳情報通信融合研究センター¹,
 追手門学院大学², 京都大学³, Aston University⁴)
- 3p03 乳児における高速逐時視覚呈示(RSVP)中の顔検出能力の検討
 鶴見周摩¹, 金沢 創², 山口真美³, 河原純一郎⁴
 (中央大学大学院¹, 日本女子大学², 中央大学³, 北海道大学⁴)
- 3p04 手の動きが追従眼球運動に与える影響
 及川 諒¹, Chia-huei Tseng², 松宮一道², 栗木一郎², 塩入 諭²
 (東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)

- 3p05 感情が視覚の時間精度に及ぼす影響～表情正立画像と倒立画像の比較～
小林美沙¹, 一川 誠² (千葉大学大学院人文公共学府¹,
千葉大学大学院人文科学研究院²)
- 3p06 メラニンとヘモグロビンによる色変化方向における肌の色弁別
濱田一輝, 溝上陽子, 矢口博久 (千葉大学)
- 3p07 運動感覚を手がかりとしたラバーハンド錯覚に対する視覚情報の違いの影響
小川将樹¹, 山下耀平², 伊藤裕之^{1,3}, 須長正治^{1,3}
(九州大学大学院芸術工学研究院¹, 九州大学芸術工学部²,
九州大学応用知覚科学研究センター³)
- 3p08 ひらがな文字認知に用いる空間周波数と線頻度
高橋あおい^{1,2}, 小田浩一¹
(東京女子大学大学院人間科学研究科¹,
理化学研究所網膜再生医療研究開発プロジェクト²)
- 3p09 マイクロサッカード発生特性に基づく注意状態推定と眼球運動フィードバック実験
惠本序珠亜¹, 平田 豊² (中部大学大学院工学研究科¹, 中部大学工学部²)
- 3p10 奥行き異なる枠は絵画的奥行き手がかり画像の奥行き感を増加させる
松田勇祐, 下野孝一 (東京海洋大学学術研究院)
- 3p11 先行刺激がベクシオン潜時に及ぼす効果(2)
倪 婧¹, 伊藤裕之^{2,3}, 小川将樹² (九州大学大学院芸術工学府¹,
九州大学大学院芸術工学研究院², 九州大学応用知覚科学研究センター³)
- 3p12 Effects of spatial frequency and distance on pupillary response
Xiaofei Hu, 武藤ゆみ子, 久方瑠美, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)
- 3p13 サッカード前後の情報統合に関する前後刺激のコントラスト依存性—ブランキング
効果を用いた検討—
高野修平¹, 松宮一道^{2,3}, Chia-huei Tseng^{2,3}, 栗木一郎^{2,3}, 塩入 諭^{2,3}
(東北大学工学部¹, 東北大学大学院情報科学研究科², 東北大学電気通信研究所³)
- 3p14 顔に向けられる視線傾向の調整要因—魅力・呈示位置・経時的变化の検討
藏口佳奈¹, 谷口康祐², 蘆田 宏¹
(京都大学大学院文学研究科¹, 同志社大学赤ちゃん学研究センター²)
- 3p15 Visual awareness is required for location- and eye-defined singletons to capture
attention in search
Ching Yee Chan¹, Hiu-Mei Chow², Chia-huei Tseng³
(University of Hong Kong¹, University of Massachusetts²,
Research Institute of Electrical Communication at Tohoku University³)
- 3p16 輝度変動刺激に対する瞳孔径変動特性とそれに基づく視線入力手法の提案
武藤ゆみ子, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)
- 3p17 自己身体感覚ならびに目と手の協応動作の観点から見るマルチモーダル情報処理の
時間窓
神谷聖耶¹, 葭田貴子² (東京工業大学大学院理工学研究科¹, 東京工業大学工学院²)

- 3p18 文字のDuty比と読みやすさの関係
大西まどか¹, 小田浩一²
(東京女子大学大学院人間科学研究科¹, 東京女子大学現代教養学部²)
- 11:00-12:15 セッション8 (一般講演)
座長: 岡嶋克典 (横浜国立大学)
- 3o01 1型/2型色覚の閾上色差知覚におけるS錐体情報の過小評価
永井岳大¹, 林 恭平², 川島祐貴¹, 山内泰樹¹, 須長正治³
(山形大学大学院理工学研究科¹, 山形大学工学部², 九州大学大学院芸術工学研究院³)
- 3o02 白色境界線の付加による色対比錯視の増強
兼松 圭¹, 鯉田孝和^{1,2}
(豊橋技術科学大学大学院情報・知能工学専攻¹, 豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所²)
- 3o03 明度知覚に関与する人間の脳領域の同定の試み: fMRI 研究
坂野雄一^{1,2}, 對馬淑亮^{1,2}, 和田充史^{1,2}, 安藤広志^{1,2}
(情報通信研究機構/大阪大学脳情報通信融合研究センター¹, 大阪大学大学院生命機能研究科²)
- 3o04 視放線の組織構造特性からヒト一次視覚野の応答潜時を予測する
竹村浩昌^{1,2,3}, Shai Berman⁴, 湯淺健一^{1,3}, Aviv Mezer⁴, 天野 薫^{1,2}
(情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター¹, 大阪大学大学院生命機能研究科², 日本学術振興会³, The Edmond and Lily Safra Center for Brain Science, The Hebrew University of Jerusalem⁴)
- 3o05 定常視覚誘発電位を使ったヒト色相選択性応答の検証
金子沙永^{1,2}, Søren K Andersen³, 栗木一郎¹
(東北大学電気通信研究所¹, 日本学術振興会², University of Aberdeen³)
- 13:15-14:35 セッション9 (特別講演)
座長: 松宮一道 (東北大学)
眼球運動における視床大脳経路の役割
田中真樹 (北海道大学医学研究院・医学院・医学部)
マイクロサッカード, 視覚的注意, 盲視
吉田正俊 (生理学研究所・システム脳科学研究領域・認知行動発達機構研究部門)
- 14:45-15:45 セッション10 (一般講演)
座長: 金子寛彦 (東京工業大学)
- 3o06 高分子ゲルアクチュエーターを用いた調節可能眼内レンズのフィジビリティスタディ
三橋俊文¹, 堀内哲也², 安積欣志², 不二門 尚³, 大鹿哲郎¹
(筑波大学医学医療系¹, 産業技術総合研究所無機機能材料研究部門², 大阪大学大学院医学系研究科³)

3o07 日常の感情変化が視覚探索課題に及ぼす影響
前川 亮^{1,2}, 山岸典子¹, Matthew de Brecht^{1,3}, Stephen J. Anderson⁴
(情報通信研究機構／大阪大学脳情報通信融合研究センター¹,
追手門学院大学², 京都大学³, Aston University⁴)

3o08 Eye-of-origin: temporal profile with priming paradigm
Chia-huei Tseng¹, Hiu Mei Chow², Ching Yee Chan³ (東北大学電気通信研究所¹,
Department of Psychology, University of Massachusetts²,
Department of Psychology, University of Hong Kong³)

3o09 繰り返し探索により獲得された空間配置表象の身体運動への影響
塩入 諭^{1,2}, 小林正幸² (東北大学電気通信研究所¹, 東北大学大学院情報科学研究科²)

15:45- 総会・ベストプレゼンテーション賞表彰式・閉会